

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●阪神ジュベナイルフィリーズはメジャーエンブレムが優勝

12月13日(日)の5回阪神4日・第11レースとしておこなわれた阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)ではメジャーエンブレム(牝2歳/美浦・田村康仁厩舎)が優勝しました。

### ●鹿戸雄一調教師が200勝、中竹和也調教師が400勝を達成

12月13日(日)の5回中山4日・第4レースではブルーアンレーヴが1着となり、同馬を管理する鹿戸雄一調教師(美浦)は現役106人目となるJRA通算200勝(2253戦目)を達成しました。同日の4回中京4日・第4レースではリヴゴージュが1着となり、同馬を管理する中竹和也調教師(栗東)は現役46人目となるJRA通算400勝(4532戦目)を達成しました。

### ●岩田康誠騎手がJRA年間100勝を達成

12月12日(土)の5回阪神3日・第4レースではショウナンアヴィドが1着となり、同馬に騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、5年連続9回目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●サンビスタやラキシスの競走馬登録抹消

2012年小倉大賞典(G III)勝ち馬エーシンジーライン(牡10歳/栗東・坂口正則厩舎/JRA通算65戦9勝・地方1戦0勝)、2015年チャンピオンズカップ(G I)などを勝ったサンビスタ(牝6歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算17戦6勝・地方11戦5勝)、2015年マーメイドS(G III)勝ち馬シャトーブランシュ(牝5歳/栗東・高橋義忠厩舎/JRA通算24戦4勝・地方1戦0勝)、2013年アルテミスS(重賞)勝ち馬マーブルカテドラル(牝4歳/美浦・上原博之厩舎/JRA通算17戦3勝)、2014年エリザベス女王杯(G I)などを勝ったラキシス(牝5歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算17戦5勝)、2014年読売マイラズC(G II)などを勝ったワールドエース(牡6歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算14戦4勝・海外3戦0勝)は、12月18日(金)までに競走馬登録を抹消されました。エーシンジーラインは北海道浦河町の栄進牧場、ワールドエースは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、サンビスタは北海道新ひだか町のグランド牧場真歌繁殖場、シャトーブランシュとラキシスは北海道安平町のノーザンファーム早来、マーブルカテドラルは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●サウンドスカイが全日本2歳優駿(川崎)で重賞2連勝

全日本2歳優駿(Jpn I、12月16日、川崎、1600<sup>米</sup>)は、中団から差を詰めたサウンドスカイ(戸崎圭太騎手、牡、父ディーブスカイ)が残り100<sup>米</sup>を切った辺りで抜け出し、1番人気に応えました。2番人気のレガローが1馬身半差の2着に入り、3番人気のエネスクは5着、オーマイガイは6着、コウエイテンマは8着でした。

### ●JRAの岩田康誠騎手がゴールデンジョッキーC(園田)に優勝

12月15日に園田で全国から通算2000勝以上の騎手を集め、3レースのポイント制で争われたゴールデンジョッキーCは、JRAの岩田康誠騎手が優勝。内田博幸騎手は第9位でした。

### ●12月23日の名古屋グランプリで3勝目を狙うエーシンモアオーバー

名古屋グランプリ(Jpn II、名古屋、2500<sup>米</sup>)は、過去にこのレース2勝のエーシンモアオーバー、小回りコースが鍵もカゼノコ、牝馬アムールプリエ、ソリタリーキング、ニホンピロアワーズの、JRA所属馬同士の争いとなりそうです。

### ●レーザーバレットらが参戦、12月24日の兵庫ゴールドT(園田)

兵庫ゴールドT(Jpn III、園田、1400<sup>米</sup>)は、57<sup>キロ</sup>のレーザーバレットが中心、以下トップハンデ59.5<sup>キロ</sup>のドリームバレンチノ、ポアゾンブラック(北海道)、ラブバレット(岩手)、アキトクレッセントの順に有力視され、他にJRAからはラヴィアンクレールが出走の予定です。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●香港Cは日本馬が1・2着独占、モーリスは香港マイル快勝

香港国際レース4戦(すべて国際G 1)は12月13日、史上最多となる国際G 1勝ち馬29頭など53頭を集めてシャティン競馬場で争われ、過去最多10頭出走の日本馬が2勝しました。メインレースの香港C(芝2000<sup>米</sup>)は、単勝38.7倍のエイシンヒカリ(武豊騎手、牡4歳、父ディーブインパクト)が2分00秒60の好タイムで逃げ切り、G 1初勝利。後方の最内から伸びたヌーヴォレコルト(R.ムーア騎手)が1馬身差の2着。準メインの香港マイル(芝1600<sup>米</sup>)は、2番人気のモーリス(牡4歳、父スクリーンヒーロー)が7番手の外から差し切り、G 1・3勝目。ただし勝利騎手のR.ムーアは不注意騎乗で12月14~27日まで騎乗停止とされました。香港スプリント(芝1200<sup>米</sup>)は香港のペニアフォビア(J.モレイラ騎手、騾4歳、父ダンディマン)が逃げ切って国際G 1初勝利、香港ヴァーズ(芝2400<sup>米</sup>)はアイルランドのハイランドリール(R.ムーア騎手、牡3歳、父ガリレオ)が本命のフロントシャーを2着に退け、G 1・2勝目。当日の入場人員8万5552人は過去最多でした。